

トレーサビリティはもう常識!



トレーサビリティとは、
食品の移動を
把握できることです。

対象商品を特定した
迅速な回収が可能

問題の原因の
速やかな特定が可能

トレーサビリティが確立されていれば
食品に問題が発生しても

安全な他の流通ルート
の確保が可能

トレーサビリティを確立することは、業務の効率化にも役立ちます。

問題が起きた時の備えは充分ですか？



原因食品別件数

・魚介類	114
・魚介類加工品	15
・肉類及びその加工品	95
・卵類及びその加工品	14
・乳類及びその加工品	1
・穀類及びその加工品	17
・野菜及びその加工品	63
・菓子類	8
・複合調理食品	83
・その他	464
・不明	671



原因物質別件数

・細菌	1,065
・ウイルス	275
・化学物質	14
・自然毒	106
・その他	8
・不明	77

食中毒
1,545件
(平成17年)
(厚生労働省統計)

対象品目別件数

・菓子類	180
・調理食品	83
・酪農製品	50
・飲料等	40
・調味料・スープ	40
・食肉製品	38
・めん・パン類	37
・加工魚介類	29
・野菜加工品	27
・その他	161



食品回収
685件
(平成15年4月～
平成18年3月)

原因別件数

・アレルギー表示	136
・期限表示	136
・品質不良	87
・異物混入	84
・添加物	68
・規格・基準不適合	38
・容器・包装	33
・異味・異臭	20
・残留農薬・抗生物質等	11
・その他	72



(※社告、自治体に報告されて公表されたもの等
独立行政法人農林水産消費技術センター調査)

これらの問題が発生した場合に、トレーサビリティが大いに役立ちます。

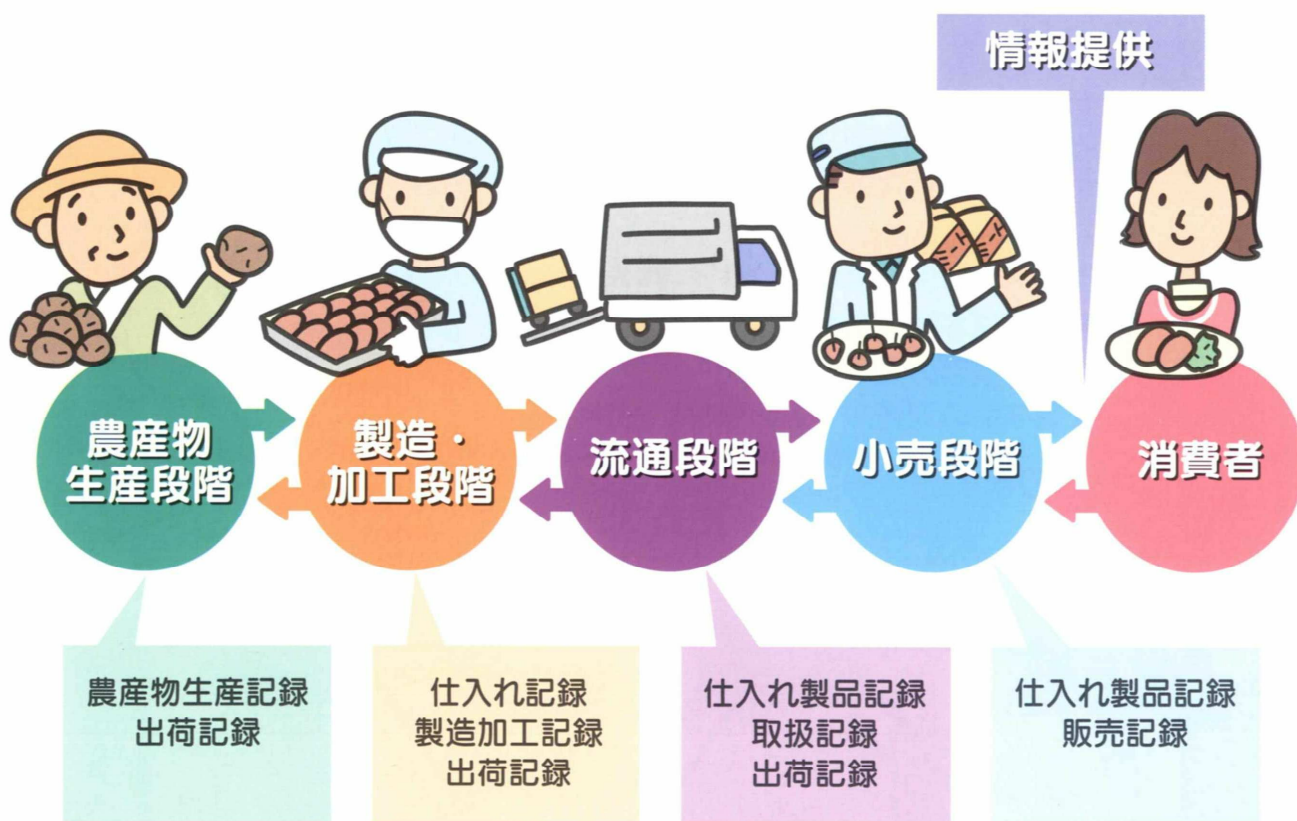
食品のトレーサビリティって何ですか？



トレーサビリティとは、 食品の移動を把握できることです。

コーデックス委員会※では、「生産、加工及び流通の特定の一つ又は複数の段階を通じて、食品の移動を把握できること」と定義されています。

※コーデックス委員会 消費者の健康の保護、食品の公正な貿易の確保等を目的として、1962年にFAO及びWHOにより設置された国際的な政府間機関であり、国際食品規格(コーデックス規格)の作成等を行っています。



○トレーサビリティを活用すれば、農薬や肥料等の使用に関し、高度な情報の提供も可能です。(これらの情報は、自主的に付加するものです。)

トレーサビリティの語源

「トレーサビリティ (traceability)」は、「trace (追跡)」と「ability (可能)」の二つの用語を合わせた言葉です。

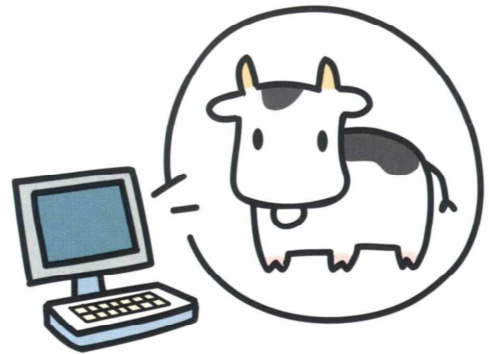
食品のトレーサビリティとは、食品の「追跡が可能であること」という意味です。



食品のトレーサビリティに関する制度はあるのですか？ また、食品のトレーサビリティでは何ができますか？



○国産牛肉については、平成13年の国内でのBSE発生を契機として、平成15年に牛肉トレーサビリティ法が制定され、牛の個体識別番号を一元管理するとともに生産・流通の各段階において正確に伝達することが必要となっています。



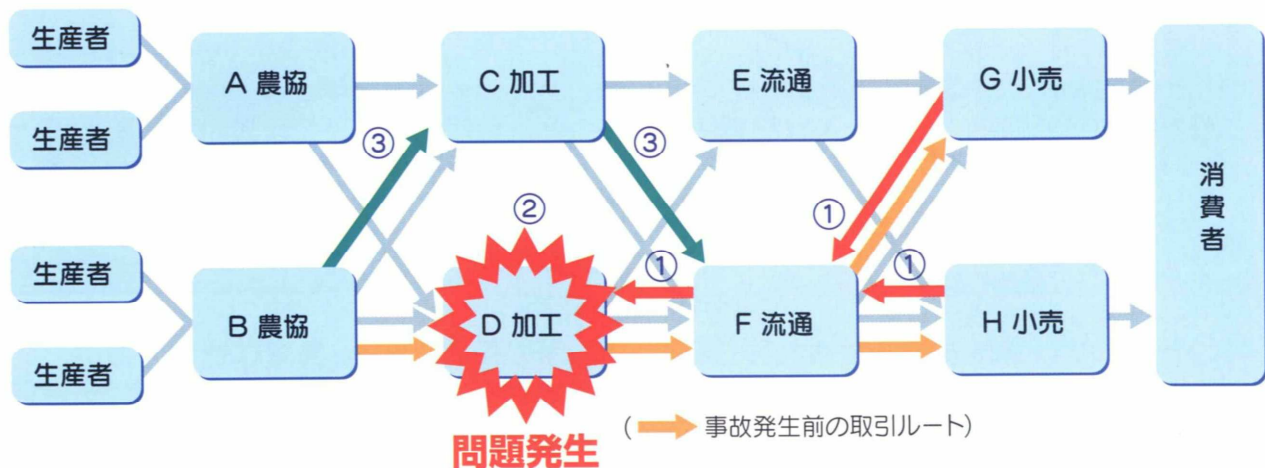
○平成15年の食品衛生法の改正により、食品等事業者は、必要な限度において、仕入先の名称等の記録の作成・保存に努めることとされました。

○トレーサビリティが確立されていれば、**問題が発生した際に、**

- ① 対象商品を特定した迅速な回収(→)
- ② 問題の原因の速やかな特定(爆発)
- ③ 安全な他の流通ルートの確保(→)



が可能となります。



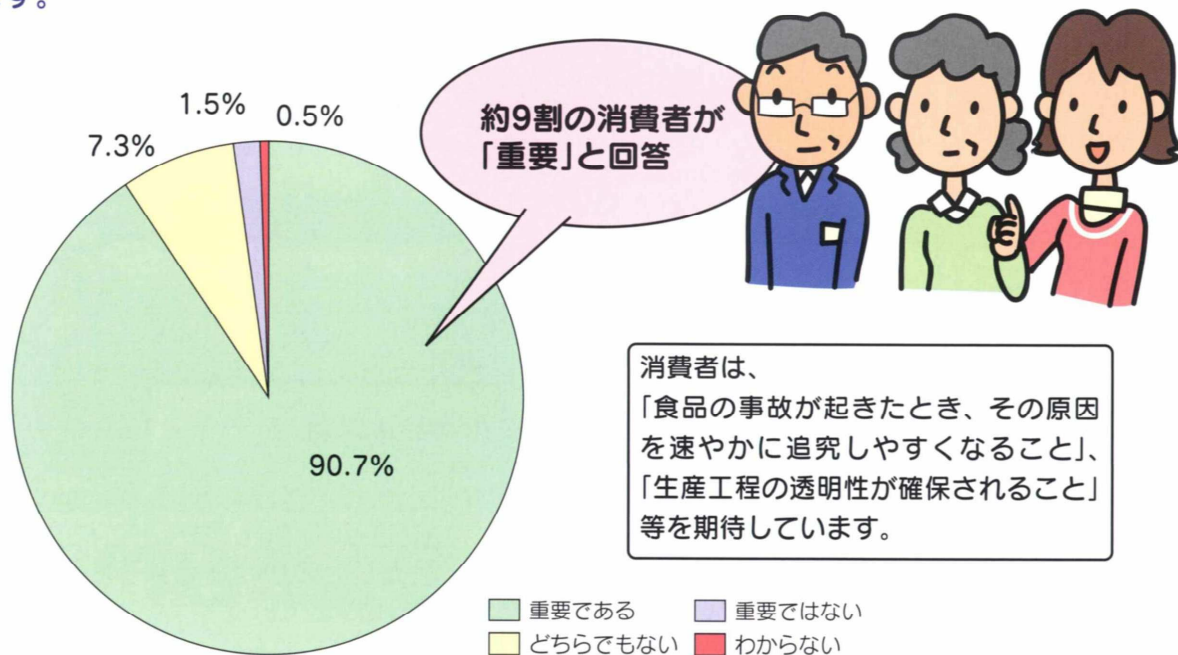
○このほか、

- ・ 生産方法や加工方法等に関する情報を提供できます。
- ・ 食品の販売状況に関する情報を入手できます。
- ・ 受発注処理、在庫管理、物流管理を効率化できます。

このように、事業者にとって大きなメリットがあります。

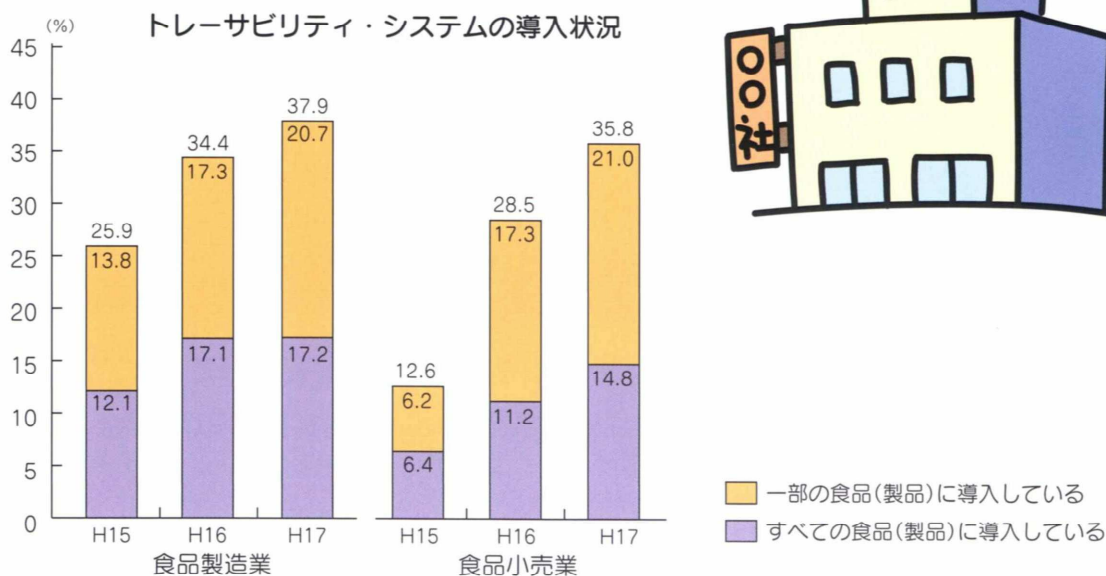
消費者は、トレーサビリティを重要と考えています。 そして、導入する企業は、年々増えています。

○食品のトレーサビリティの重要性について、約9割の消費者が「重要」と回答しています。



(平成17年3月食料品消費モニター調査結果(農林水産省))

○トレーサビリティ・システムを導入している企業(「すべての食品(製品)」又は「一部の食品(製品)」に導入)は、年々増えています。



[平成17年度食品産業動向調査結果(農林水産省)]

具体的に何をすればいいのですか？



食品の移動をロット※単位で把握することが必要です。

そのためには

※ロット

同じような条件のもとで生産、加工又は包装された製品の集まり。バッチ。

ある食品について、同じ工場で生産され、同じ消費期限が表示されているものを1つのロットとすることもできます。



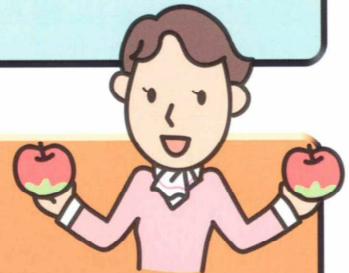
製造・加工業者は、

- ①どのロットの製品を「いつ」「どこに」販売したのかわかるように記録します。
- ②製品のロットごとに、原料の購入先や購入時期等がわかるように記録します。



流通業者は、

- ①「いつ」「どこから」仕入れた製品(ロット)を「いつ」「どこに」販売したのかわかるように記録します。
- ②製品のロットを小分けしたり、組み合わせて1つのロットとする場合は、それぞれの関係がわかるように記録します。



食品に問題が発生した際に、対象となる食品を迅速に特定することができます。

食品の移動の把握だけであれば、伝票等で確認できるのですが、食品に問題が発生した際に迅速に対応するためには、ロット管理が必要です。

GAP、HACCP、ISO 22000と
組み合わせて行くと効果的です。



GAP

Good Agricultural Practiceの略称で、農業生産現場において、食品の安全確保や品質向上などへ向けた適切な農業生産を実施するための管理のポイントを整理し、それを実践・記録する取組です。

HACCP

製造工程について危害分析を実施し、重要管理点における管理基準を定めて食品の衛生管理を行う手法であり、コーデックス委員会がガイドラインを定めています。

ISO 22000

フードチェーン内の組織が、食品に対する危害を管理する能力をもつことを実証するためにISO(国際標準化機構)が定めた食品安全マネジメントシステムの規格です。



業務の定期的な見直しの中で、食品の
トレーサビリティが確保されていることの検証が必要です。

社内の責任者を定め、定められた手順に沿ってロットの管理、記録等の業務が適切に行われているかどうか検証します。詳細は、「食品トレーサビリティシステムの要件」をご覧ください。

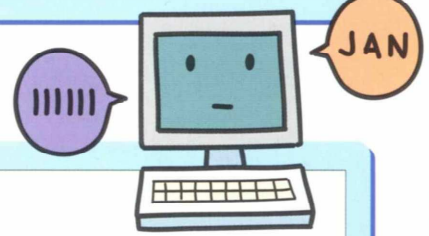
参 考

識別コード

- ・ 識別コードを利用すると、様々なデータ処理を効率的に行うことができます。
- ・ JANコードのように様式が決まっているタイプ、ucodeのように内容を自由に設計できるタイプ、個々の事業者が独自に定めているコード等様々なものがあります。

情報伝達媒体について

ロットに関する情報を伝達する媒体として、伝票などの紙の書類に加えて、バーコード、二次元コードや電子タグなどが開発されています。



種 類	情報量	再書込み	情報の 処理・検索	コスト
文字 (伝票等)	小	可	遅	低
バーコード	数十字	不可	早	低
二次元コード	数千字	不可	早	低

トレーサビリティに関する参考書

◎食品トレーサビリティシステム導入の手引き(平成19年3月改訂)

基本的な考え方、トレーサビリティシステムの導入の進め方を解説したものです。

◎食品トレーサビリティシステムの要件 (平成18年10月)

トレーサビリティが確立していることを検証する場合の基準を定めたものです。

◎品目別ガイドライン

平成19年3月現在、青果物、外食産業、鶏卵、貝類(カキ・ホタテ)、養殖魚、海苔について作成しています。

トレーサビリティについて知りたい方は、
以下のホームページをご覧ください。

○ 農林水産省 ホームページ

<http://www.maff.go.jp/trace/top.htm>

(全般)

○ 社団法人食品需給研究センター ホームページ

<http://www.fmric.or.jp/trace/>

(導入の手引き、食品トレーサビリティシステムの要件、品目別ガイドライン、導入事例集)

○ 社団法人農協流通研究所 ホームページ

<http://www.nrk-net.org/tre.htm>

(青果物ガイドライン)



トレーサビリティに関する問合せ先
所在地の都道府県及び農林水産省担当窓口

- 農林水産省消費・安全政策課……電話:03-3502-8503
- 北海道農政事務所消費生活課…電話:011-642-5474
- 東北農政局消費生活課……………電話:022-221-6093
- 関東農政局消費生活課……………電話:048-740-0096
- 北陸農政局消費生活課……………電話:076-232-4227
- 東海農政局消費生活課……………電話:052-223-4651
- 近畿農政局消費生活課……………電話:075-414-9771
- 中国四国農政局消費生活課……電話:086-224-9428
- 九州農政局消費生活課……………電話:096-353-7625
- 沖縄総合事務局消費・安全課……電話:098-866-0156



GREEN PRINTING JFPI

P-B10029

この印刷物は、グリーン基準に適合した印刷資材を使用して、グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮製品です。